

# 東日本大震災 復興・支援活動ニュースレター

## カトリック仙台司教区・カリタスベース

発行人：平賀徹夫  
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-12  
カトリック仙台司教区事務局  
Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378  
1) 義援金振替口座:02260-9-2305  
名義:カトリック仙台司教区本部事務局  
2) 支援金振替口座:00170-5-95979  
名義:カリタスジャパン

11月29日に、10月に発生した台風20号、21号を、既に激甚災害に指定されている19号と併せて一連の災害として、「激甚指定」とするという「閣議決定」を行ったというニュースが発表されました。10月12日から13日にかけての台風19号は、13都県あわせて100名近い死者・行方不明者を出し、そのうち最も人的被害が大きかったのは、福島県でした。原発被災地である南相馬市、相馬市などにも被害をもたらし、その他の郡山市、宮城県丸森町、登米市などにも大きな被害がありました。被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、今号は、その地へ、いち早くボランティアに行った人々の報告をご紹介します。

東北ユースオーケストラは、東日本大震災で被災した学校の楽器の点検・修理のプロジェクト「こどもの音楽再生基金」(全国楽器協会)が発展し、坂本龍一さんの活動で結成されました。そのメンバー有志による「東北ユースオーケストラ ミニコンサート」としてカリタス石巻ベースで心のこもった、温かいコンサートを開いてくださいました。その様子もご紹介しております。どうぞ、ご覧くださいませ。

最後に、2020年3月にむけて製作中の「復興支援タオル」についてご案内しております。よろしくお願いいたします。

### 台風19号・大雨による被害について

カトリック原町教会 高野郁子

2019年10月12日(土)から13日にかけて、台風19号が福島県に襲いかかりました。また、18日から19日にかけて、そして25日にも大雨が降りました。

私たちは、台風19号の中心が浜通りを通るという予報から、台風19号に備えての準備をしました。食料を備蓄したり、しばらく店が開かない時のために日用品を買い込んだり、ゴム長靴や土のうを準備したり、近くの川が氾濫した時のハザードマップを確認したり、避難時に持ち出す貴重品などをリュックにまとめたりしました。これらは、8年前の東日本大震災の時には頭が真っ白になって、なかなかできませんでした。今回はすばやく準備ができました。

12日15時35分、南相馬市内全域に避難勧告が出されましたが、自宅近くに避難所がまだ開設されていませんでした。いよいよ雨がひどくなり、近くの小学校に避難所が開設されたとの話を聞き、「避難」を家族で相談しましたが、足腰が弱い高齢の母と一緒に避難させるのは無理と考え、2階に避難をすることにしました。台風が通り過ぎるまで、雨と風にかなり緊張した時間を過ごしました。13日の午前2時ごろから雨、風が収まりはじめ、安心しました。市内に出された避難指示等は、13日16時30分に全て解除されました。

テレビで、南相馬市より先に台風19号に遭ったいわき市の情報を伝えていたため、状況を心配していたところ、翌日、連絡が取れなかったいわき市の2軒の知人から、夏井川が氾濫し、自宅1階の半分が浸水し、車4台が水没したと連絡がきました。

私たちは2日後、常磐道が通行可能と知るや、米や水、カリタス南相馬から融通してもらった乾パンや震災被災者用のレトルト食品を持って、夏井川近くの知人宅へかけつけました。

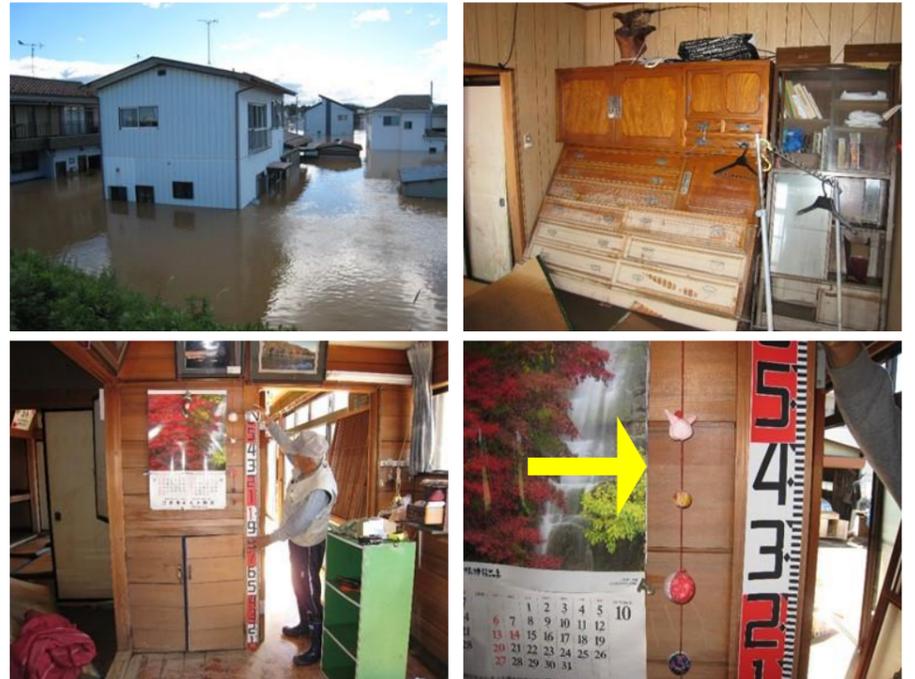
知人は「わざわざ、買ってきてくれたの?」と感謝して物資を受け取りました。私は「カリタス南相馬」の存在の説明をして、支援物資を受け取ることを負担に思わないように配慮しました。

そのあいだ、テレビでは相馬市内の断水のニュースがずっと流れていました。「8年前、多くの方々から原町教会も信者さんも助けていただいた。自分たちも何かできるのでは?」とコンコルディアの活動日であった16日、メンバーを誘い、断水中

の信者さんの家をカリタス南相馬からいただいた水やコンコルディアで融通した水を持って訪問しました。

また、福島県を南北に流れる阿武隈川が氾濫・決壊し、各所で甚大な被害が発生したとニュースでは伝えていました。阿武隈川の支流から郡山市の2軒の知人宅1階に水が入り、生活ができず、他所に避難

郡山市水門町 137cm (写真右下の黄矢印)の高さまで床上浸水したお宅



中との連絡が入りました。こちらは、8年前の原発避難の際、とてもお世話になった家々でした。

カリタス南相馬に備蓄がないかまた問い合わせをして、いただいたレトルトのシチューやカレー、ケーキの缶詰、コンコルディアから支援いただいた毛布や食器などを持って、郡山市の知人宅へ向かいました。知人宅では、畳や家財道具が外に出されて、庭に積み上げられていました。

今回、浜通りに居ながら自分の家が何の被害もなかったのは、奇跡というしかありません。被害に遭われた方々に少しでも力を分けてあげられることに感謝しています。



浸水により量が浮き上がって倒れたピアノや冷蔵庫



水害後のいわき市の様子

とコンコルディアの活動日であった16日、メンバーを誘い、断水中

## 東北ユースオーケストラ ミニコンサート

東北ユースオーケストラ 中村祐登

寒さが増してきた11月16日の土曜日、東北ユースオーケストラは宮城県石巻市を訪れました。カリタス石巻ベースでミニコンサートを行うためでした。メンバーは、高校生から大学生までの演奏者、スタッフ総勢9名でした。

今年で第5期を迎える東北ユースオーケストラは、第1期から有志による演奏活動を行っています。被災地の子どもたちでつくられるこのオーケストラの本質を問う活動として、継続して行ってきました。中でも石巻ベースは、特に継続的に演奏をさせていただいている場所です。今回のコンサートで3回目となりました。会場のあたたかい雰囲気と、元気の姿にこちらも毎回勇気づけられます。前回はいらした方が聴きに来てくださり、懐かしの再会に笑顔があふれます。

美味しい山形風の芋煮をいただいた後、コンサートは始まりました。今回も選曲には歌謡曲を中心に据え、皆さんに歌っていただくことができました。音楽が感情表出のきっかけとなるよう、懐かしい歌謡曲、ふるさとの曲、ふるさを思い出す曲を積極的にプログラムに入れました。



聴きに来ていただいた方の中には、生の演奏を聴く機会がなかなかないとおっしゃる方もおり、楽器を持って行って目の前で「響き」を共有することが、とても大切な時間であると感じます。貴重な「生の音」を聞く機会を通じて、様々な感情を動かし、ストレスの発散につなげてほしいという思いが伝わったのではないかと思います。オーケストラの楽器を目の前にすることは貴重な機会だということもあり、楽器の紹介では、初めて目の前にするオーケストラの楽器にとっても驚かされていました。



担当する楽器について分かりやすく説明する演奏者

終演後のお茶っこでは、コンサートの印象がダイレクトに伝わってくる時間です。「知っている曲があって楽しく聴けました」や「生の演奏を聴けて幸せでした」という感想をいただきました。

東北ユースオーケストラは、初めて行った有志演奏活動において、地域、特に被災した方々に、演奏を通じて「寄り添う」という大切な価値観をいただきました。震災からのこの9年を分かち合ってください方もおり、大切にしている「寄り添う」という価値観をこれほどまでに

考えさせられる場所はないと感じています。継続的に訪れ、演奏をし、お話をすることが大切であると改めて感じました。

今回も、前回同様に温かく迎えてくださった石巻ベースのみなさま、仙台教区サポートセンターのみなさま、ありがとうございました。ベースのみなさまにはさまざまな取り計らいをいただき、スムーズにコンサートを進めることができました。ぜひまたこの場所で、楽しいひと時を過ごしたいと思います。今後も継続的に訪れることができるよう、オーケストラの練習を頑張っていきたいと思います。



演奏後は、地域の皆さんとのふれあいの時間

## 台風19号による宮城県登米市の被害と

### カリタス南三陸の災害ボランティア活動の様子

台風19号により、カリタス南三陸ベースのある宮城県登米市でも、浸水被害が発生しました。

10月17日からカリタス南三陸ベースで、個人宅の家屋片づけなどの災害ボランティア活動をはじめると、カリタス大船渡ベースのスタッフや仙台教区（神言会所属）のパウロ神父様をはじめとしたボランティアさんが活動に参加してくださいました。※登米市災害ボランティアセンターは、10月26日（土）をもって、閉じられました。

個人宅での片づけ 冷蔵庫をはじめさまざまな家財道具が使えなくなっていた



床板を切って剥がし、床下の泥出しを行う 選別した廃棄物を仮集積所へ運搬

個人宅の片づけが落ち着いた10月末からは、駐車場から店舗、公園が水害に遭った道の駅津山「もくもくランド」の片づけ作業に参加しています。公園の遊具やゴムマット、コンクリートに残る乾いた泥を高圧洗浄機で洗い流す作業や、泥の上に川砂を敷く作業、流れついたわらや倒木、木の根っこなどの撤去作業などを行っています。

(2019年11月末現在も継続中)

道の駅津山での災害ボランティア活動の様子



◎2019年11月末現在、特に多くのボランティアを求めている災害ボランティアセンターは、次の3カ所です。他地域においてもボランティアを募集しているところがありますので、「[全社協被災地支援・災害ボランティア情報](#)」等のホームページで詳細をご確認ください。

- 宮城県 丸森町災害ボランティアセンター  
地域を問わずボランティアを募集(10人以上の団体は事前に要電話連絡)
- 福島県 いわき市災害ボランティアセンター  
地域を問わずボランティアを募集
- 長野県 長野市災害ボランティアセンター  
地域を問わずボランティアを募集 (北部VC、南部VCの2カ所に開設)

台風通過後の登米市の様子



台風でベースの田んぼが水没しましたが、多くの人に助けられて稲刈りを行い、10月20日に全て天日干しすることができました。



## 2020年 東日本大震災復興支援タオル製作中

東日本大震災 復興支援

Always with you 

仙台教区サポートセンター  
Since 2011

仙台教区サポートセンターでは、2020年3月に向けて、「復興支援タオル」を製作中です。タオルを手にとっていただき、これからも一人でも多くの方に、東日本大震災の記憶を心に留め、復興支援活動について関心を持ち続けていただければ幸いです。

ご希望の方は、サポートセンターまでFAXなどでお申込みください。2020年1月31日まで受付しております。

今後とも皆さまのご支援・ご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

- タオルサイズ：横84cm×縦34cm（フェイスタオル）
- ご注文は、2枚以上でお願いします。
- タオル1枚につき、300円以上のご寄付をお願いします。(送料別)  
いただいた寄付金は、全額、カリタスジャパンを通して、東日本大震災復興支援活動のために使われます。
- 送料は着払いとなりますのでご了承ください。
- ご寄付は、タオルをお送りする際、払込用紙を同封します。  
払込手数料のご負担をお願いいたします。
- 注文用紙にある必要事項をご記入の上、仙台教区サポートセンターまで、2020年1月31日（金）必着でご注文ください。  
※タオルは2月下旬より順次発送予定です。

注文用紙 *メールの場合は、下記の項目をお知らせください。		
ご注文者様お名前	注文枚数	枚
電話番号	FAX 番号	
メールアドレス		
◆お届け先情報 〒		
ご住所		
お名前	電話番号	
備考 *受け取り時間、曜日等の指定がある場合はご記入ください。		

### 【お申し込み・お問合せ先】

#### ◆仙台教区サポートセンター

FAX：022-797-6648 E-mail：sendaids@gmail.com

住所：〒980-0014

仙台市青葉区本町1-2-12 カトリック元寺小路教会 2階

電話番号：022-797-6643

\*お申し込み後、3日経っても返信がない場合は、お手数ですがお電話でご連絡ください。(月～土 9:00～17:00)

日曜・祝日・12/28～1/5はお休みとなりますので、ご了承ください。